

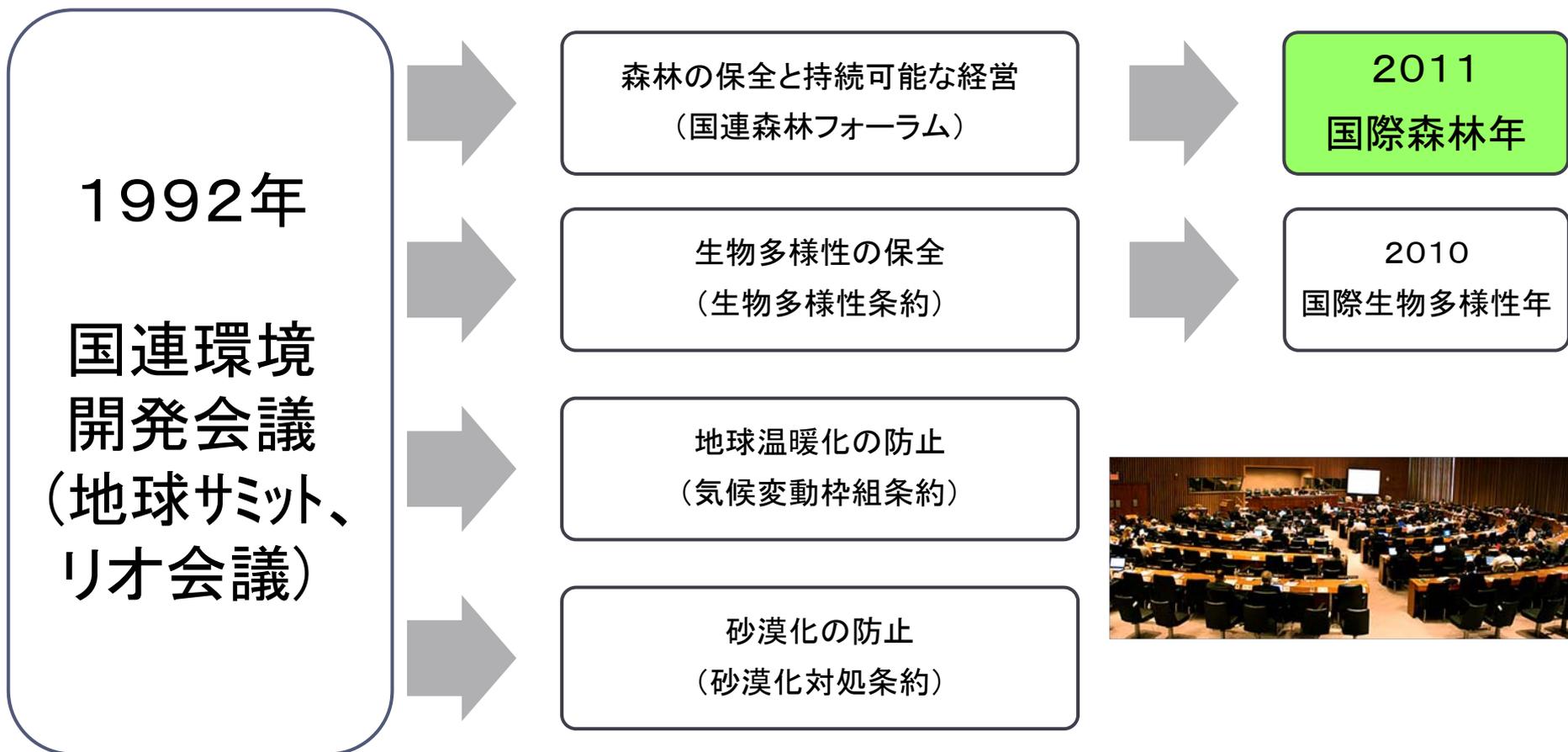


2011 国際森林年のねらい



国際森林年の位置づけ

- ▶ 国際森林年は、国連のもとで行われる活動。





2011 国際森林年の実施

1992年の地球サミット・リオ会議において「森林の保全と持続可能な経営」の重要性を指摘

2006年12月の国連総会において、2011年を国際森林年にすることを正式決定

森林に対する世界の市民の理解と参加が目的

国連事務局直属の国連森林フォーラム（UNFF、ニューヨーク）事務局が実施の中心

世界的行事として、植樹、森林祭、会議、写真等の展示、森林におけるスポーツ行事や出版物等の活動を展開予定





国連による「国際森林年」の取組例

公式ロゴマークの
デザイン

公式ウェブサイトの
設置

生物多様性年との
ブリッジング・セレ
モニーの実施

スポークスマン
(名誉大使)による
メッセージの啓蒙

記念切手の発行

芸術・映画・写真
コンテストの実施

プロモーション
ビデオの作成

フィルム・フェス
ティバルと協力
したフィルム映写

展示物、垂れ幕等



国連関係の主な予定

国際生物多様性年と国際森林年との
ブリッジングセレモニー
(2010年12月18日、石川県金沢市)



国際森林年を公式に立ち上げ
(2011年1～2月のUNFF9会合、米国ニューヨーク)



第66回国連総会における特別ハイレベル・イベント
(2011年9月開催、米国ニューヨーク)





国際森林年のロゴマーク

- ▶ 「Forests for People (人々のための森林)」というテーマを伝えるもの。
- ▶ 世界の森林の持続可能な経営、保全等における人間の中心的役割を称える。
- ▶ 人々の居住環境や食料・水等の供給、生物多様性保全、気候変動緩和といった森林の多面的機能が人類の生存に欠かせないものであることを訴えるデザイン。



**INTERNATIONAL YEAR
OF FORESTS • 2011**



国内における「国際森林年」の活動戦略（たたき台）

- ▶ 豊かな森林を守り育てていくこと、またそのために国民一人一人が具体的に行動することが重要であることへの理解を深め、我が国の林業を再生し、美しい森林づくりを推進するはずみになるよう、全国各地でのイベントも活用しながら効果的な取組を展開する。
- ▶ 我が国としてのテーマを早急に設定することが必要。



植樹祭・育樹祭



美しい森林づくり



木づかい運動



途上国支援



国際森林年の推進体制

国際森林年国内委員会

- ・ 各界の著名人にメンバーとなってもらい、国際森林年の進め方などについてご意見をうかがう。

国際森林年名誉大使

- ・ 国際森林年の意義を伝えるための大使。国際的な位置づけとできるかどうか確認しつつ、人選を進める。

フォレスト・サポーターズ

- ・ 「美しい森林づくり推進国民運動」の「フォレスト・サポーターズ(企業、NPO、個人等)」が「国際森林年」の活動に参加して頂く仕組みを検討。

重点的に進めていくこと（たたき台）①



【世界のために】

- ▶ REDD+ (Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation in Developing Countries) の推進
 - ▶ 支援策を充実させるとともに、途上国関係者に対して説明・PRを行うことはできないか。
- ▶ 海外植林活動に対する支援
 - ▶ 支援策を検討するとともに、活躍しているNPOの状況についてのシンポジウムなどができないか。
- ▶ 国際交流の推進
 - ▶ 行政関係者のための国際会議、研究推進のための国際会議、NPO・海外協力関係者、林業者・木材産業の交流を実施できないか。



重点的に進めていくこと（たたき台）②



【日本の次世代のために】

- ▶ 森林を守る活動をしている人々を支援
 - ▶ 緑の少年団、森林ボランティアなどの活動について顕彰・広く紹介・PRなどができないか。
- ▶ 水を造るという観点から森林の保全を進めることを支援
 - ▶ ミネラルウォーターを販売や水道事業を通じて森林を保全している企業等を顕彰・紹介・PRするとともに交流するイベントなどができないか。
- ▶ 森と海のコラボレーションの推進
 - ▶ 豊かな海を創る観点から森の保全を進めている団体などを顕彰・紹介・PRするとともに交流を進めるイベントができないか。



重点的に進めていくこと（たたき台）③



【日本の次世代のために】

- ▶ 森を守り生物多様性を守る活動をしている人々を支援
 - ▶ 森に手を入れ、生物多様性を守る活動をしている人々を前年の生物多様性年に引き続き支援できないか。
- ▶ 森林を守る活動をしている企業を支援
 - ▶ 森林を所有し、森林保全活動をしている企業を顕彰・紹介・PRできないか。
- ▶ 地元で里山を保全し、農地を守っている人々を支援
 - ▶ 山村で持続可能な農林業に取り組んでいる人々への理解を深めることができないか。
- ▶ 森林・木材の知識の普及
 - ▶ 森林・木材の知識を広く普及するための取組みをできないか。





プロジェクトシート①

▶ 次のようなことが出来ないか検討中。

森を語る新聞広告

- ・ 国際森林年を契機に企業や行政で活躍している方々の取組みについて、対談形式の新聞全面広告を行う。協賛する企業の取組として実施することを検討。

森を語るテレビ番組

- ・ BSなどで毎週著名人(歌手・財界人など様々)が森に関することを語ってもらう。司会には森に造詣のある芸能人を起用する。
- ・ これに加えて企業での取組の紹介なども行う。

各種学会の国際森林年記念大会

- ・ 森林関係だけでなく、幅広い学会において、国際森林年や森林をテーマとしてもらい、大会開催に際しての協力をを行う。



プロジェクトシート②

森林写真コンテスト

- ・ 各種写真コンテストなどにおいて、2011年のテーマを森林にってもらうよう働きかける。(文芸賞なども依頼してみる)

水を創る人々協議会シンポジウム

- ・ ミネラルウォーター、水道水など、森を守りつつ自らの販売する水だけでなく多くの用途に使われる水を創っている企業などを顕彰・PRするシンポジウムを開催できないか。

環境関係フォーラムとの連携

- ・ 食・環境・地域づくりをテーマとしている行事との連携を進め、森林保全を進める観点からの協力を行う。



国際森林年推進事業（要求中）

- ▶ 平成23年度予算について、「国際森林年推進事業」（新規）を概算要求中。
- ▶ 国際森林年という機会を捉えて普及活動を展開し、我が国における豊かな森林の維持、途上国の森林保全等に対する国民の理解を促す。

国際森林年国内
委員会の運営

国際森林年
普及事業の実施

国際森林年
記念会議の開催

国際森林年における取組スケジュール



12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

国際生物多様性年
とのブリッジングセレモニー
(石川県、12/18-19)

第9回国連森林フォーラム会合(ニューヨーク、1/24-2/4)
ハイレベル対話
・世界の持続可能な森林経営に係る取組の評価
・国際森林年の立ち上げ

第66回国連総会(ニューヨーク、9月)
森林に係る意識向上のための
特別イベント(総理の代表団)

国連でのキックオフ

国内委員会の設置

第1回
国内委員会

民間企業等との連携

国内委員会の運営・普及事業の実施
(ウェブサイトの設置、企業等との連携等)

4/15~5/14
みどりの月間

10/1~10/31
木づかい月間

みどりの
感謝祭

全国植樹祭
和歌山県

全国育樹祭
奈良県

国際森林年記念
会議の開催

【凡例】

国際森林年において新たに行う取組

既存の事業の活用による国際森林年への取組



当面の予定 (In the Pipeline)

2010年

10月～11月

- ▶ 国内体制の構築
- ▶ 農林水産省ウェブサイト専用ページを立ち上げ
- ▶ 国内テーマの策定

12月

- ▶ 国際生物多様性年クロージングイベント・国際森林年ブリッジングセレモニー(12/18)

2011年

1月～2月

- ▶ UNFF閣僚級会合・国際森林年キックオフ(2/2～3)
 - ▶ 第1回国内委員会(国内のキックオフ)
-

